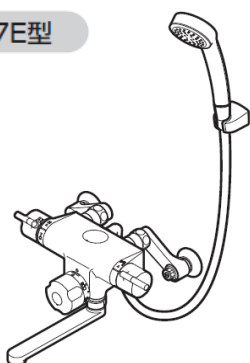


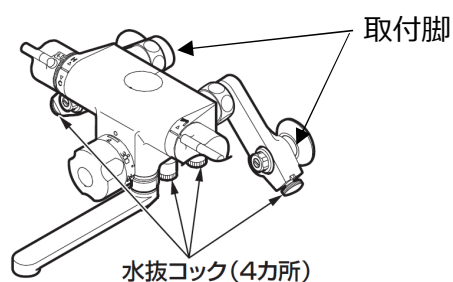
シンラ HK/WKシリーズ Cタイプ 定量止水式サーモスタット混合水栓(寒冷地用) シャワーがあるタイプ

寒冷地用水栓は、取付脚に水抜コックがあります

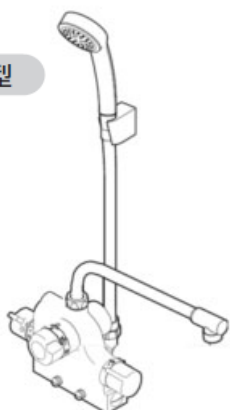
TMF47E型



定量止水式サーモスタット水栓

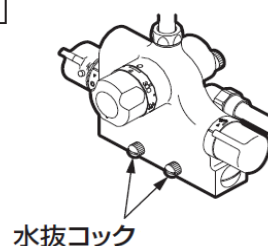


TMJ48E型

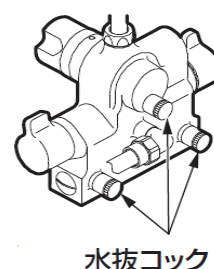


定量止水式サーモスタット水栓

前側



後側



凍結予防方法

P 2、3

通水再開方法

P 4

水抜きを行っても 通水再開後、水が出ない場合の対応方法

P4

通水再開後に流量が変わった場合の対応方法

P5

万一 凍結した場合の対応方法

P 6

凍結後、温度がずれている場合の調整方法

P6、7

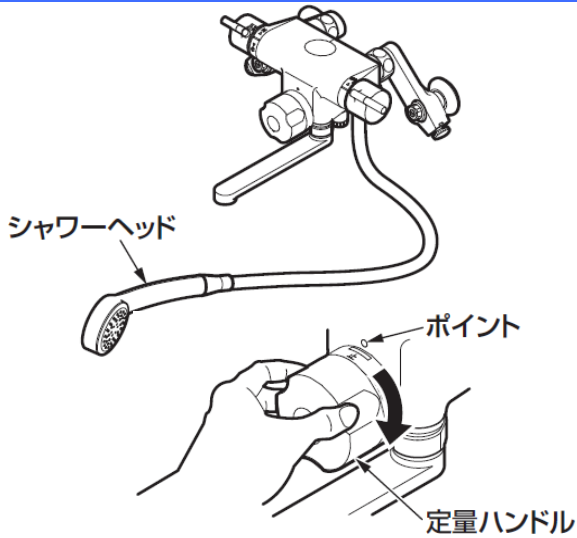
凍結予防方法

1. 水栓の水抜きをする前に

配管内の水を抜いてください。

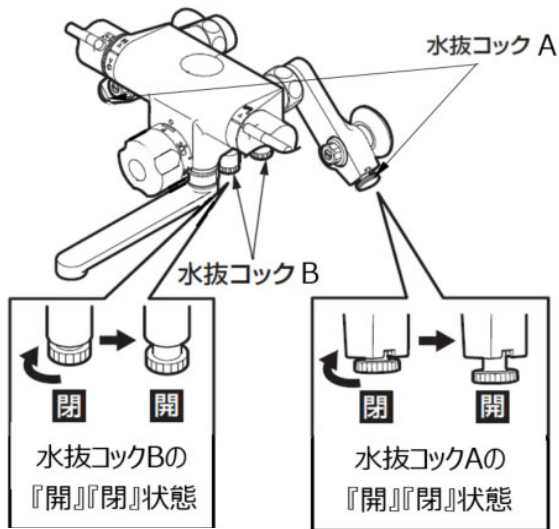
配管内の水を抜いていない場合、水栓内の水が十分に抜けず、凍結のおそれがあります。

2. 水栓の水抜き方法



- 1 シャワーヘッドを床近くに置く。
- 2 定量ハンドルを ➡ 印以上まで回す。
- 3 水抜きコックが熱くないことを確認してください。

TMF47E型

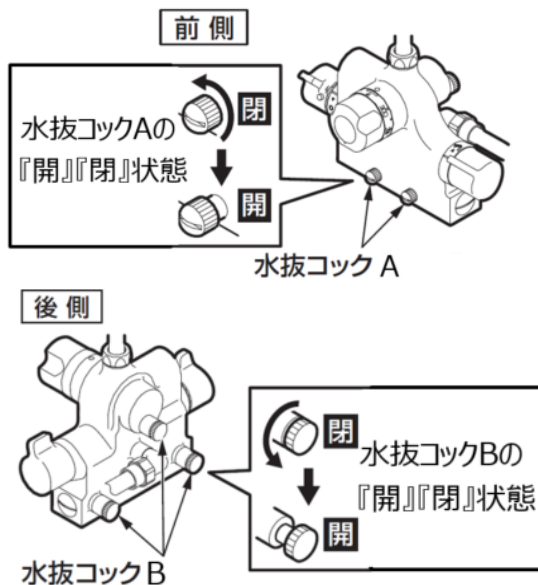


- 4 水抜きコックをすべて開ける。
空気を取り入れ、水を抜けやすくします。

TMF47E型の場合

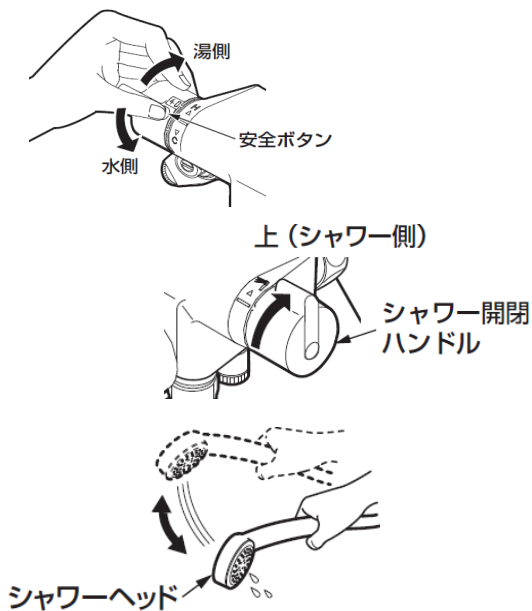
取付脚部の 水抜きコックA 2カ所

TMJ48E型



TMJ48E型の場合

本体前側の 水抜きコックA 2カ所
本体後側の 水抜きコックB 3カ所



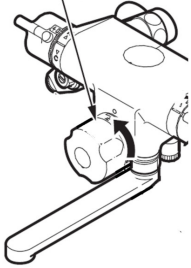
- 5 安全ボタンを押したまま、温度調節ハンドルを湯側⇄水側と複数回切り替え、スパウトから水を抜く。
確実に水を抜くため。
- 6 スパウトから水が出なくなったら、シャワー開閉ハンドルをシャワー側いっぱい回して、ホース内の水を抜く。
- 7 シャワーヘッドは下向きにし、よく振って中の水を抜いてから床に置く。
- 8 確実に水が抜けたことを確認する。
※水抜きが不十分な場合、凍結破損のおそれがあります。
- 9 定量ハンドルを戻す。

TMF47E型

TMJ48E型

定量ハンドル

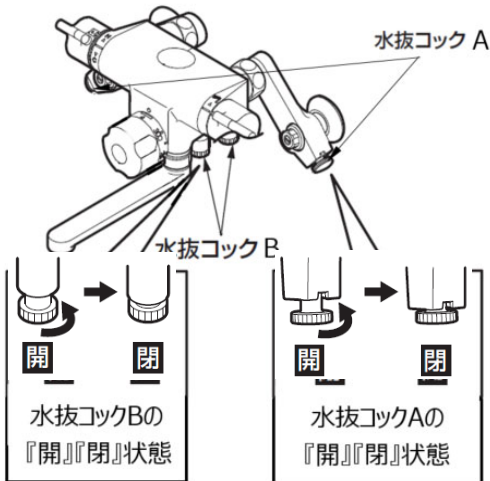
定量ハンドル



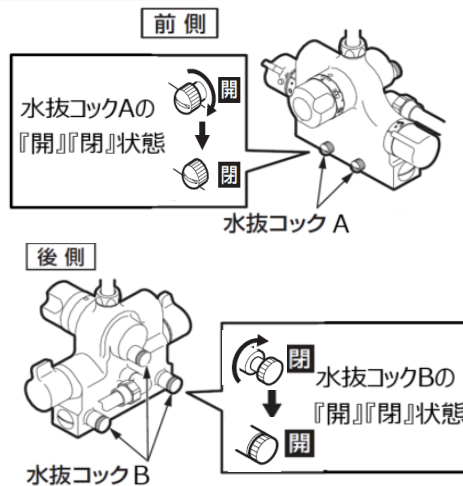
TMF47E型

- 10 水抜コックを閉める。

TMJ48E型



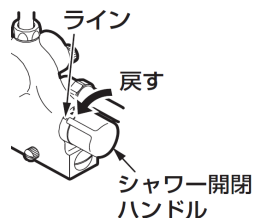
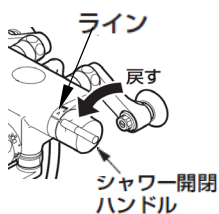
取付脚部の 水抜コックA 2カ所
本体部の 水抜コックB 2カ所



本体前側の 水抜コックA 2カ所
本体後側の 水抜コックB 3カ所

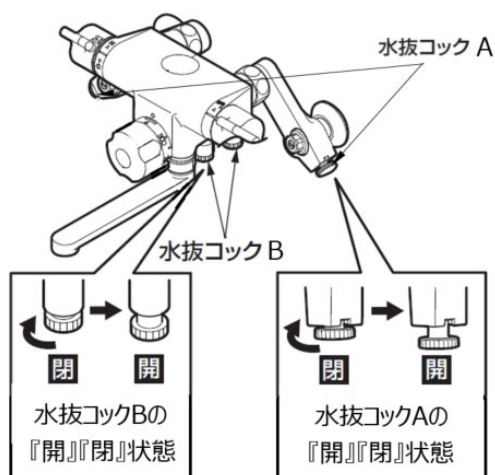
TMF47E型

TMJ48E型



- 11 シャワー開閉ハンドルをラインの位置(水が出ない状態)に戻す。
⇒水抜き完了

TMF47E型



1

すべての水抜コックが閉まっていることを確認する。

TMF47E型

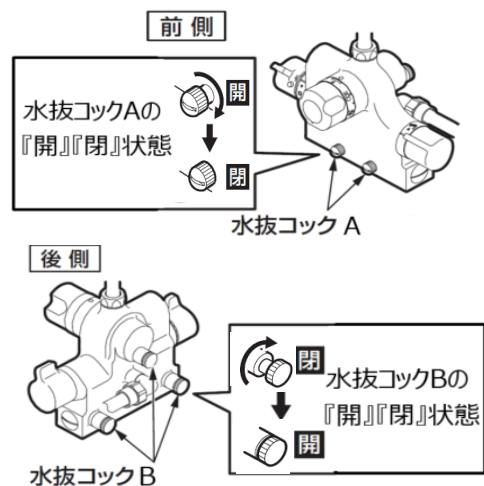
取付脚部の 水抜コックA 2カ所

TMJ48E型

本体前側の 水抜コックA 2カ所

本体後側の 水抜コックB 3カ所

TMJ48E型

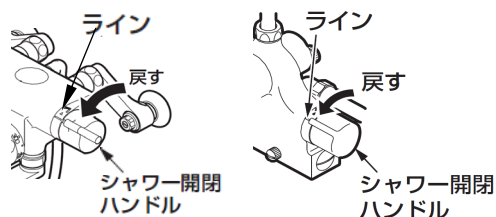


TMF47E型

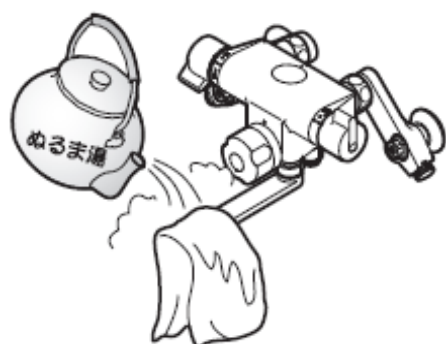
TMJ48E型

2

切替(開閉)ハンドルが止めの位置まで戻っていることを確認し、通水を再開する。



水抜きを行っても通水再開後、水が出ない場合の対応方法

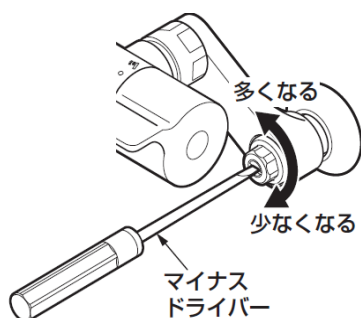
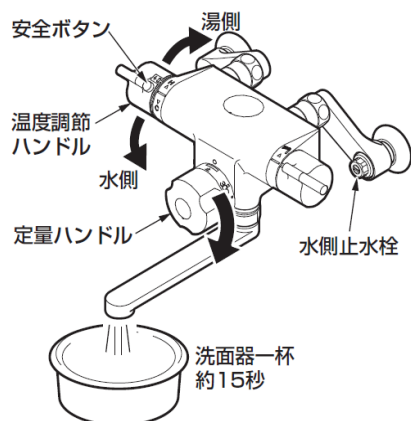


水抜きを行っても吐水口の網目やフィルターに付着した水滴が凍り、通水後も少しの間、水が出ない場合があります。

そのときはタオルなどの布を巻き付け、しみこませるようにゆっくりとぬるま湯をかけてください。

準備するもの：洗面器、マイナスドライバー

TMF47E型



- 1 温度調節ハンドルを下(水側)いっぱい回し、
切替ハンドルをスパウト側いっぱい回す。
スパウトから水が出ます。
- 2 流量が15L/分程度(洗面器一杯にするのに
約15秒弱)になるように水側止水栓で調節する。
時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに
回すと多くなります。



湯側の流量調節をするときはやけどに十分に注意してください。

- 3 安全ボタンを押しながら温度調節ハンドルを
上(湯側)いっぱい回し、
②と同じように湯側止水栓で流量を調節する。

※流量を極端に絞らないでください。あまり極端に絞ると流量の感知精度が悪くなったり自動止水しないことがあります。
目盛り150(約150L)のとき、少なくとも30分以内で水が止まる程度の流量でご使用ください。

万一 凍結した場合の対応方法



凍結すると、設定温度がずれて、やけどのおそれがあります。

準備するもの：温度計



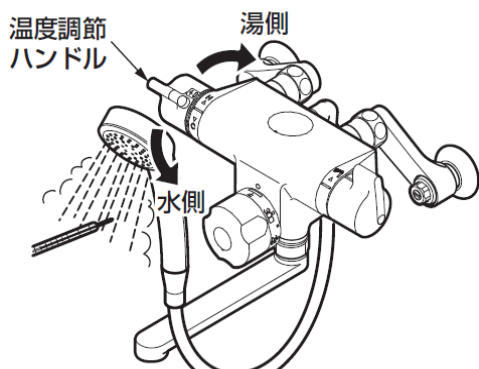
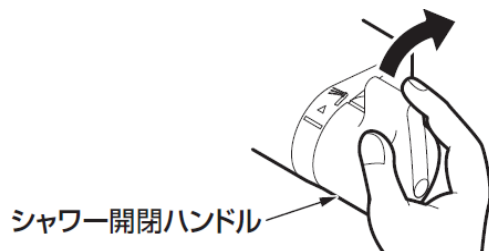
万一、凍結した場合は、
通水再開後のシャワー吐水時に温度調節ハンドルの
目盛り "40" と吐水温度があっているか確認してください。

温度がずれている場合の調整方法

準備するもの：温度計、精密ドライバー

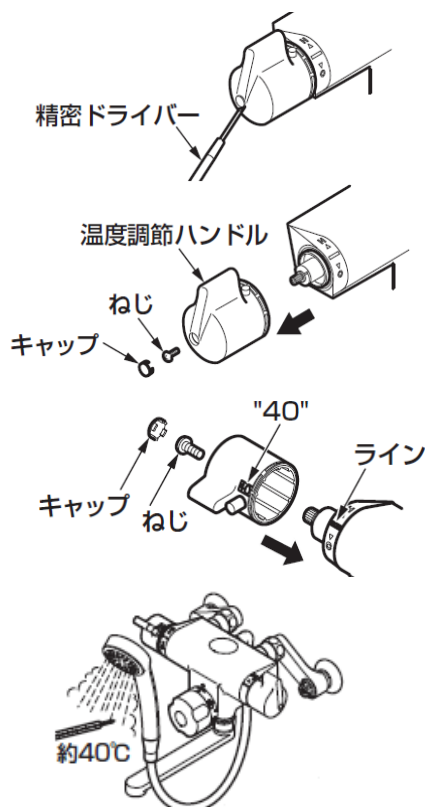
TMF47E型

TMJ48E型

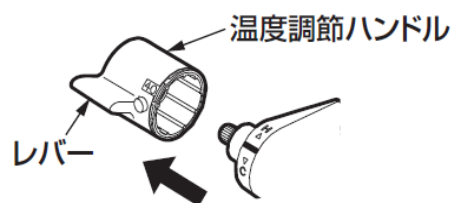


- 1 シャワー開閉ハンドルを上いっぱい回す。
シャワーから水が出ます。
- 2 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく
適温（約40℃）の湯が出る位置まで回す。
温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近で
ロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、
安全ボタンを押しながら回してください。

TMF47E型の場合

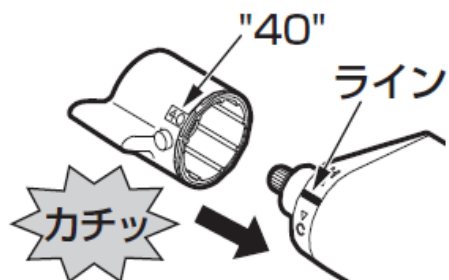


- 3 温度調節ハンドルのキャップを
精密ドライバーなど 先の細いものを使用しめっき表面を
傷つけないように注意しながら外す。
- 4 次に 小ねじを外して
温度調節ハンドルが回らないように注意して
ハンドルを抜取る。
ハンドルの取り扱いには十分に注意してください。
落下させるとけがをしたり、ハンドルが変形するおそれがあります。
- 5 目盛り"40"の文字とラインをあわせて、
温度調節ハンドルをはめ込む。
小ねじで固定してキャップを取り付ける。
- 6 固定後に適温(約40℃)の湯が出ているか確認する。



- 3** 温度調節ハンドルが回らないように注意して
ハンドルを抜き取る。

※ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。
抜けない場合は、傷がつかないように
レバー部を軽くたたいてください。



- 4** 目盛り"40"の文字とラインをあわせて
温度調節ハンドルを「カチッ」と音がするまで押し込む。

- 5** 適温(約40℃)の湯が出ているか確認する。